

防災気象情報の改善

- 線状降水帯の予測精度向上に向けた取組
 - 令和6年から開始する府県単位での呼びかけ
 - 「顕著な大雨に関する気象情報」を最大30分程度前倒しして発表
- 気象情報の量的予想を幅のない表現に変更

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

今年、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを**府県単位で実施予定**(出水期に間に合うよう準備中)。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」… 段階的に**対象地域を狭めていく**

令和3(2021)年
線状降水帯の発生をお知らせする情報
(令和3年6月提供開始)




線状降水帯の雨域を楕円で表示

令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

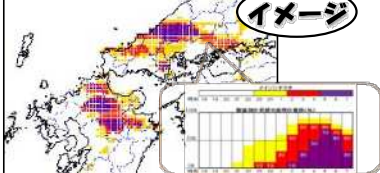
今年の新たな運用
令和6(2024)年～
府県単位で半日前から予測

次期静止気象衛星
令和11年度運用開始予定



令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供

イメージ



令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に**情報の発表を早めていく**

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

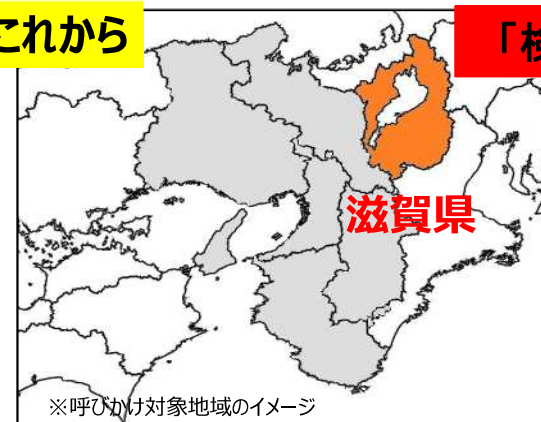
国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

これまで



対象地域を
絞り込んで発表

これから



「検討中」

地方気象情報

大雨に関する**近畿地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 大阪管区気象台発表

<見出し>

近畿地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する**近畿地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 大阪管区気象台発表

<見出し>

滋賀県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

対象とならない 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県では、府県気象情報における呼びかけをしない。

府県気象情報

大雨に関する**滋賀県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 彦根地方気象台発表

<見出し>

近畿地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>

…（中略）…

大雨に関する**滋賀県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 彦根地方気象台発表

<見出し>

滋賀県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

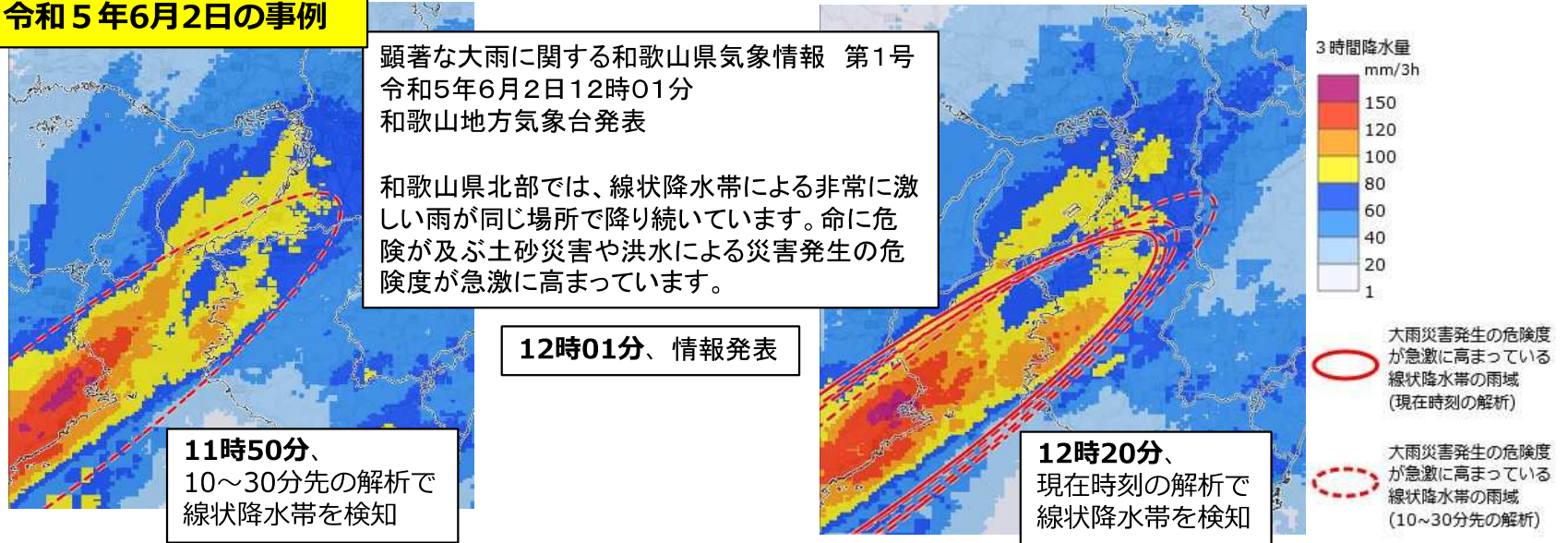
<本文>

…（中略）…

※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

➤ 「顕著な大雨に関する気象情報」について、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、令和5年5月25日（木）から、これまで発表基準を実況で満たしたときに発表していたものを、予測技術を活用し、最大30分程度前倒しして発表しています。

令和5年6月2日の事例



線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。

- ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壤雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）において警報基準を大きく超過した基準を超過

➤ メインシナリオ（最も確からしい量的予想）をより伝えやすくするため、令和6年出水期から、降水量や降雪量、風速、波高の幅のない表現に変更します。

変更例（府県気象情報）

令和●年 台風第●号に関する滋賀県気象情報 第●号
令和●年●月13日05時37分 彦根地方気象台発表

幅を持たせた表現

（見出し）

台風第●号は、15日には、近畿地方にかなり接近するおそれがあります。滋賀県では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。

（本文）

---- 省略 ----

〔風の予想〕

滋賀県では、14日から15日にかけて暴風となるおそれがあります。

14日に予想される最大風速（最大瞬間風速）

琵琶湖 16メートル（30メートル）
琵琶湖を除く地域 14メートル（25メートル）

15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）

琵琶湖 20から24メートル（30から40メートル）
琵琶湖を除く地域 20から24メートル（30から40メートル）

〔雨の予想〕

滋賀県では、15日から16日頃にかけて警報級の大雨となるおそれがあります。

14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

北部 5.0から10.0ミリ
南部 5.0から10.0ミリ

その後、15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

北部 20.0から30.0ミリ
南部 20.0から30.0ミリ

〔防災事項〕

---- 省略 ----

〔補足事項〕

---- 省略 ----

令和●年 台風第●号に関する滋賀県気象情報 第●号
令和●年●月13日05時37分 彦根地方気象台発表

幅のない表現

（見出し）

台風第●号は、15日には、近畿地方にかなり接近するおそれがあります。滋賀県では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。

（本文）

---- 省略 ----

〔風の予想〕

滋賀県では、14日から15日にかけて暴風となるおそれがあります。

14日に予想される最大風速（最大瞬間風速）

琵琶湖 16メートル（30メートル）
琵琶湖を除く地域 14メートル（25メートル）

15日に予想される最大風速（最大瞬間風速）

琵琶湖 20メートル（35メートル）
琵琶湖を除く地域 20メートル（35メートル）

〔雨の予想〕

滋賀県では、15日から16日頃にかけて警報級の大雨となるおそれがあります。

14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

北部 8.0ミリ
南部 10.0ミリ

その後、15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

北部 20.0ミリ
南部 25.0ミリ

〔防災事項〕

---- 省略 ----

〔補足事項〕

---- 省略 ----

